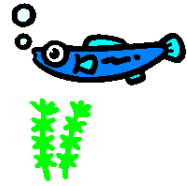




朽木東小学校 学校だより 第9号

なかよく たっしやで きばる子

令和5年6月12日(月)



今、始まる物語 心を1つに 優勝に向かって全力疾走

運動会が終わってから、翌日以降もお会いする方々が、「運動会でできてよかったですね。」「運動会はいいい天気でしたよかったですね。」と声をかけてくださいます。そうなんですよ。運動会って必ず天気を気にしながらなんですよ。雨がずっと外での練習も予定通りにできないし、すべてが当初の練習計画通りに進んでいくことはまずありません。今年は雨の日も多く、開閉会式等の全校練習を体育館で行ったり、天気を見ながら本番までの練習日程を組み替えていたりして、臨機応変に準備を進め、本番を迎えました。私は、期間中ずっと去年のことが頭をよぎり、天気、当日のグランドコンディションが心配でした。ところが、金曜日にあれだけの雨が降ったのに、土曜日の朝には水が引いていました。午後にはスポーツ少年団のサッカーの子どもたちが練習をしていましたが、滑る様子もなく、これなら大丈夫だと少し安心しました。前日の火曜日の午後から夜中まで雨が降りましたが、当日の朝には乾いていました。それでも空の様子が昨年と同じように感じられ(気にし過ぎだったかな?)、少し不安はありましたが、登校してきた子どもたちが椅子を持って出てきた頃には、『天気心配はいらぬ、今日はいいい運動会になるぞ。』という気持ちになっていました。

さて、今年の運動会の取組の中で、子どもたちのいい姿をいっぱい見せてもらいました。小学生の子どもがものすごく前向きに純粋にがんばろうとする姿は、見ている人の気持ちを明るく元気にしてくれます。感動を与えてくれます。そして、今年は、練習を見ている中で、先生がものすごく笑顔で楽しそうにしていた姿も印象に残りました。前日の朝から最後の全校での応援や綱引き練習が終わった後、1・2年生がダンスの最後の練習をしました。その時、子どもたちが集まって、「エイエイオーをしよう。」という声が聞こえ、担任も一緒に輪になって声を上げる、そして、2人の担任と一緒に笑顔で元気に踊る、その姿が何か今年の運動会を象徴しているように思えました。午後から5・6年生が前日準備をしてくれた最後に6年生が入場から式の最終練習をしました。少し雨があたってきましたが、きびきびとした一人ひとりの動き、はきはきとしっかり話す声、最後の運動会を迎える6年生の姿、これもまた今年の運動会を象徴しているように思えました。

運動会が終わり、学年だよりが次々と回ってきました。表現は様々ですが、私にはどの学年の担任からも大きな充実感と子どもたちの成長を感じた喜びが伝わってきました。職員からは、「今年の運動会はものすごく楽しかった。本番もずっと楽しんでやれた。」という声が聞きました。学校説明会でも話をさせていただきましたが、私は今年、『職員が毎日学校で元気に楽しく過ごすこと、世界中のどの職場よりもみんななかよく明るく過ごせる職場にすること』を大切にしています。それがそのまま子どもたちの姿になる、そうでないといいものが生まれにくい、いい教育活動はできません。運動会では、そんな学校の姿がいっぱい見れたなあって思っています。たくさんの方に来校いただいて、子どもたちの姿を見ていただけたこともうれしく思います。私は、今年

の運動会はいい運動会になる、ものすごく自信があると明言してきましたが、子どもたちの一生懸命な姿、純粋な心で頑張る姿、運動会に取り組んできたこのわずかな期間で得られたものは大きいと思います。

今、始まる物語 心を一つに優勝に向かって全力疾走。全力を出し切った子どもたちに感謝です。一生懸命計画・準備・練習に取り組んでくれた本校職員にも感謝です。子どもたち、そして学校を支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様にも感謝です。みんなで作った運動会、主役の子どもたちみんなが輝いた運動会、みんなが笑顔になれた運動会でした。本当にありがとうございました。

～運動会練習風景～



午後から公民館にテントを返しに行って戻ってきたら、全員中学校のグラウンドにいました。午後からの中学校の体育祭を少し見せていただき、玉入れに是非小学生も参加して欲しいと声をかけていただいたので、喜んで参加させていただきました。小学校の運動会では籠を持つ役だったK先生が、張り切って玉を投げている微笑ましい姿も見られました。

